

CAD製図専門学校工業専門課程 CAD ビジネス高度専門士科
2022年度(令和4年度) シラバス

学校法人 古藤学園 CAD製図専門学校

区分	授業科目	CAD ビジネス高度専門士科 年次別単位数・時間数										
		1年		2年		3年		4年		計		
		単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	
履修科目	一般科目	外国語Ⅰ	8	172							8	172
		外国語Ⅱ			12	258					12	258
		外国語Ⅲ					8	172			8	172
		外国語Ⅳ							4	86	4	86
		社会一般	4	86							4	86
		進路指導・マナー					4	86	4	86	8	172
	専門分野	ビジネス実務	8	172							8	172
		ビジネス応用実務			8	172					8	172
		ビジネス実践実務					8	172			8	172
		ビジネス応用実践実務							4	86	4	86
	演習科目	コンピュータ演習Ⅰ	8	172							8	172
		コンピュータ演習Ⅱ			8	172					8	172
		CAD演習Ⅰ	12	258							12	258
		CAD演習Ⅱ			12	258					12	258
		CAD演習Ⅲ					20	430			20	430
		CAD演習Ⅳ							8	172	8	172
		企業研修							20	430	20	430
	合計	40	860	40	860	40	860	40	860	160	3440	

科目	外国語 I			必修	履修学年	1	単位数	8	時間数	172
目標	<p>日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。</p>									
内 容										
I ガイダンス	1. 授業の進め方 2. テキストの使い方				文法 : 言葉の仕組み					
II テキスト前期	1. 第1回 実戦ドリル 2. 第2回 実戦ドリル 3. 第3回 実戦ドリル 4. 第4回 実戦ドリル 5. 第5回 実戦ドリル 6. 第6回 実戦ドリル 7. 第7回 実戦ドリル				IV テーマ別講座	1. 動詞 2. い形容詞、な形容詞 3. 副詞 4. 対義語・同義語 5. カタカナ語 6. 慣用句 7. 表現 8. 敬語				
III テキスト後期	1. 第8回 実戦ドリル 2. 第9回 実戦ドリル 3. 第10回 実戦ドリル 4. 第11回 実戦ドリル 5. 第12回 実戦ドリル 6. 第13回 実戦ドリル 7. 第14回 実戦ドリル 8. 第15回 実戦ドリル				V 模擬試験	1. 第1回 (文字・語彙、文法) 2. 第2回 (文字・語彙、文法) 3. 第3回 (文字・語彙、文法)				
◎各回共通 文字・語彙 : 漢字の読み、書き 当てはまる言葉 言葉の意味、使い方										
評 価										
定期試験及び平常点、出席率を加味して総合評価する。										
教 材										
「日本語能力試験 直前対策N2 ドリル&模試 文字・語彙・文法」 (Jリサーチ出版)										
担当講師						小林 陽子				

科目	外国語Ⅱ		必修	履修学年	2	単位数	12	時間数	258
目標	幅広い場面で使われる日本語を理解することができる。								
内 容									
I ガイダンス	1. 授業の進め方 2. テキストの使い方			文法 : 言葉の仕組み					
II テキスト前期	1. 第1回 実戦ドリル 2. 第2回 実戦ドリル 3. 第3回 実戦ドリル 4. 第4回 実戦ドリル 5. 第5回 実戦ドリル 6. 第6回 実戦ドリル 7. 第7回 実戦ドリル			IV テーマ別講座	1. 動詞 2. い形容詞、な形容詞 3. 副詞 4. 対義語・同義語・類義語 5. 接頭辞・接尾辞 6. 擬音語・擬態語 7. カタカナ語 8. 慣用句 9. 様々な文法表現				
III テキスト後期	1. 第8回 実戦ドリル 2. 第9回 実戦ドリル 3. 第10回 実戦ドリル 4. 第11回 実戦ドリル 5. 第12回 実戦ドリル 6. 第13回 実戦ドリル 7. 第14回 実戦ドリル 8. 第15回 実戦ドリル			V 模擬試験	1. 第1回 (文字・語彙、文法) 2. 第2回 (文字・語彙、文法) 3. 第3回 (文字・語彙、文法)				
◎各回共通 文字・語彙 : 漢字の読み、書き 当てはまる言葉 言葉の意味、使い方									
評 価									
定期試験及び平常点、出席率を加味して総合評価する。									
教 材									
「日本語能力試験 前期第Ⅱ」 「どなたときどう使う日本語表現文型500」 (アルク)									
担当講師						長谷 みゆき 岩田 裕美子			

科目	外国語Ⅲ			必修	履修学年	3	単位数	8	時間数	172
目標	幅広い場面で使われる日本語を理解することができる。									
内 容										
I ガイダンス	1. 授業の進め方 2. テキストの使い方		文法 : 言葉の仕組み							
II テキスト前期	実践！読解トレーニング 文章編 1. 一人ランチ 2. 日本文化を生んだ道具 3. 棚田 4. 科学の限界① 5. 科学の限界② 情報編 1. 通信販売の送料 2. 図書館の利用案内 3. 防災訓練 4. オリエンテーション 5. 作文コンテスト		III テキスト後期	実践！読解トレーニング 文章編 6. 絵の楽しみ方 7. 宇宙飛行士の仕事 8. カーシェアリング 9. ビジネスメール 10. 航空券を安く買う方法 11. カプセルホテル 12. 子供とケータイ 13. 「悩み」の正体 14. アレルギーの危険性 15. 苦しい時ほど笑え 16. ペットと飼い主の名前 17. 自転車の車道通行 18. 古くて新しい和食の魅力 19. 映画のロケ地 20. コミュニケーション力						
◎各回共通 文字・語彙 : 漢字の読み、書き 当てはまる言葉 言葉の意味、使い方										
評 価										
定期試験及び平常点、出席率を加味して総合評価する。										
教 材										
「日本語N2文法・読解まるごとマスター」(Jリサーチ出版)										
					担当講師	大沢 真澄				

科目	外国語Ⅳ			必修	履修学年	4	単位数	4	時間数	86
目標	幅広い場面で使われる日本語を理解し、使うことができる。									
内 容										
I ガイダンス	1. 授業の進め方 2. テキストの使い方				文法 : 言葉の仕組み					
II テキスト前期	1. 第1回 模擬テスト 2. 第2回 模擬テスト 3. 第3回 模擬テスト 4. 第4回 模擬テスト 5. 第5回 模擬テスト 6. 読解第1章 7. 読解第2章				IV 重要語句		1. 動詞 2. い形容詞、な形容詞 3. 副詞 4. カタカナ語 5. 重要熟語			
III テキスト後期	1. 第6回 模擬テスト 2. 第7回 模擬テスト 3. 第8回 模擬テスト 4. 第9回 模擬テスト 5. 第10回 模擬テスト 6. 読解第3章 7. 読解第4章									
◎各回共通 文字・語彙 : 漢字の読み、書き 当てはまる言葉 言葉の意味、使い方										
評 価										
定期試験及び平常点、出席率を加味して総合評価する。										
教 材										
「日本語能力試験 直前対策N1 文字・語彙・文法」(国書刊行会) 「日本語能力試験対策 日本語総まとめN2 読解」(アスク出版)										
担当講師						中川 武司				

科目	社会一般			必修	履修学年	1	単位数	4	時間数	86
目標	日本の社会生活に必要な知識を少しでも早く簡単に使える日本語を理解することで、社会的適応力を養い、日本でより安全で安心して充実した生活ができることを目標とする。									
内 容										
1 知り合う	1. 挨拶・自己紹介ができる 2. 場面による数え方を覚える	11 引越しをする	1. 電気・ガス・水道を利用する							
2 買い物	1. 欲しい色・サイズ等を伝える 2. 症状を伝え、薬を買える 3. 返品・交換ができる	12 役所の手続き	1. 住民票の交付手続きをする 2. 国民健康保険に入る 3. 医療保険と年金を理解する							
3 目的地に行く・家に帰る	1. 人に道を聞くことができる 2. 公共交通機関を利用できる	13 税金を知る	1. 所得税・住民税を理解する 2. 納税の方法を理解する							
4 電話をする・待ち合わせ	1. 変更・キャンセルを伝える 2. 相手が不在時、伝言を頼む	14 飲食店の利用	1. 領収書を記入してもらう							
5 お金の出し入れ	1. ATMの使い方が分かる	15 スーパー・飲食店でのトラブル	1. お金不足時の対応がわかる							
6 手紙・荷物	1. 送り状を書くことができる	16 結婚式に行く	1. 招待状の記入・返信ができる							
7 事故・犯罪	1. 110番, 119番を理解する	17 お葬式に行く	1. お葬式の参加マナーを知る							
8 災害・防災	1. 防災の知識を得る	18 お見舞いに行く・入院する	1. お見舞いのマナーを知る 2. 入院の手続き・準備ができる							
9 病院	1. 症状にあった病院を探せる 2. 症状を医師に伝えられる	19 健康診断	1. 検査内容を理解する 2. 問診票を記入できる							
10 ごみ・近所関係	1. ごみを分別し捨てられる	20 求人情報を見てアポをとる	1. 求人情報を読み取れる 2. 電話でアポをとれる							
評 価										
原則、定期試験の成績を総合評価とする。										
教 材										
生活日本語テキスト～なでしこジャパニーズ～ (NPO法人神戸定住外国人支援センター, 神戸市)										
担当教員						行田 邦子				

科目	進路指導・マナー I		必修	履修学年	3	単位数	4	時間数	86	
目標	1. 本学卒業後の進路について、日本国内の就職・進学状況を理解し、次年度の就職活動につなげる。 2. 就職・進学のための活動を進めるノウハウを学び、就職説明会へ積極的に参加する。 3. 高度専門士科である自覚を高め、自己表現力を向上させ、より良い履歴書作成ができる。 4. 社会人としての心構えと基本的マナーを身につけさせる。									
内 容										
1 環境と状況の理	1. 進路希望を明確にする 2. 就職事情・進学事情を知る	6 活動実践	1. 説明会の参加 2. 面接個人トレーニング 3. 自己反省・自己評価	2 情報収集の方法	1. ハローワークの利用方法 2. 就活サイトの登録と利用	7 社会人マナー	1. 口語・敬語マナー 2. ビジネスマナーABC 3. ビジネス文書マナー 4. エントリーの方法	3 業界研究	1. 工業系の進路の研究 2. 志望動機を考える	
4 自己分析	1. 自己分析ワーク：長所短所 2. 履歴書ワーク2：自分を売り込む 個別面談・カウンセリング			5 活動レビュー	1. 就活の自己反省・自己評価 2. 目標・狙いを明確にする 3. 履歴書ワーク					
評 価										
平常課題点および定期試験による										
教 材										
特に定めない										
					担当講師	池尻 義幸				

科目	進路指導・マナーⅡ			必修	履修学年	4	単位数	4	時間数	86	
目標	1. 日本国内の就職・進学の実況を理解し、高度専門士科として自覚もたせ、本学卒業後のより良い進路を確実に決める。 2. 就職・進学に向けた活動を進めるノウハウ、学びながら実践する。 3. 自己表現力を高め、自己を最大限アピールできる履歴書を作成することができる。 4. 社会人としての心構えと基本的マナーを身につけて船出に臨む。										
内 容											
I 学習の前に (テキスト) 活動実践 1 情報収集の方法	1 目標設定 ・何のために学ぶか ・夢は書くことで実現する。 ・あなたの夢 ・課題(今の目標を書く) ① ハローワークの活用 ② 就活サイトの登録と利用	IV 社会人基礎力 (テキスト) 活動実践 4 勝負の秋 行動計画	1 プレゼンテーション 2 チームビルディング 3 ケーススタディ① 4 ケーススタディ② 5 報告・連絡・相談(報・連・相) ① 就活の自己反省・自己評価 ② 面接個人トレーニング ③ 履歴書ワーク3:100%履歴書	II 就活能力 (テキスト) 活動実践 2 業界研究	1 自己紹介 2 自己分析 3 業界・業種・職種 4 勤務の条件 5 自己PR 6 志望動機 7 履歴書・送付状 8 面接の受け方 ① 4月・5月の合同説明会参加 ② 履歴書ワーク1:基本項目	V 仕事の日本語力 (テキスト) 活動実践 5 冬の陣 就活マナー 在留資格	1 敬語 2 挨拶 3 電話 受ける 4 電話 かける 5 電話 アポイントを取る 6 訪問 7 会議 8 ビジネスメール ① 合同面接会最終段階 ② インターンシップのルール ③ 新入社員の基本の心構え 在留資格変更申請の手続き	III 社会文化能力 (テキスト) 活動実践 3 活動レビュー	1 異文化理解 2 日本の地理 ①履歴書ワーク2:自分を売り込む ②個別面談・カウンセリング ③6-8月の説明会・面接会参加		
評 価											
平常課題点および定期試験による											
教 材											
伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力(学校法人長沼スクール東京日本語学校編 国書刊行会)											
担当講師						坂本 雅彦					

科目	ビジネス実務			必修	履修学年	1	単位数	8	時間数	172
目標	日本の商慣習とビジネスマナーを学ぶことにより日本企業で働くことを希望する外国人留学生が就労時に通用するビジネス日本語だけでなく、仕事の進め方、情報セキュリティなどの法的ルールについても身につけさせる。									
内 容										
1 ビジネスコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 1 研修があると言われましたが… (日本人と働く心がまえ) 2 課長と食事に行きましたが… (上司・先輩との付き合い方) 3 同僚にお金を貸してもらいましたが… (同僚との付き合い方) 4 職場の人から飲みに誘われますが… (就業時間外の付き合い) 5 電話のあとに先輩に注意されましたが… (ウチとソトの関係) 6 何でもチームでと言われますが… (チームワーク) 7 先輩に言われたとおり質問をしたのですが… (配慮のある話し方) 8 会議で発言をしましたが… (話の進め方) 	3 社内のマナー	<ul style="list-style-type: none"> 1 話を聞くとき 2 指示を受けるとき 3 注意を受けたとき 4 退社時のマナー 5 葬儀のマナー 6 贈答のマナー 7 食事のマナー 8 お酒の席のマナー 	4 社外のマナー	<ul style="list-style-type: none"> 1 名刺の扱い方 2 仕事に役立つ雑談 3 場所ごとの席次 4 案内と見送り 5 お茶の出し方・飲み方 6 訪問のマナー 7 営業活動 8 派遣・出向 	2 ビジネスのルール	<ul style="list-style-type: none"> 1 電車の事故で遅刻をしましたが… (時間厳守) 2 仕事のために休日出勤をしましたが… (就業時間) 3 いつもの自分なのですが… (身だしなみ) 4 きちんとあいさつをしたのですが… (あいさつ) 5 隣の人が電話をしていたのですが… (お辞儀) 6 報告書を書くように言われましたが… (報告・連絡・相談) 7 職場の写真を見せたかったのですが… (情報管理) 8 先輩の外見をほめたいのですが… (ハラスメント) 	5 ビジネスのスキル	<ul style="list-style-type: none"> 1 敬語の使い方 2 話しことばと書きことば 3 漢字の使い方 4 ビジネスメールの形式 5 ビジネス文書の形式 6 はがきと封筒の使い方・書き方 7 電話を受けるとき 8 電話をかけるとき 	
評 価										
原則、定期試験の成績を総合評価とする。										
教 材										
留学生・日本で働く人のためのビジネスマナーとルール (日本能率協会マネジメントセンター)										
担当教員						關根 大地 長谷 利孝				

科目	ビジネス応用実務			必修	履修学年	2	単位数	8	時間数	172	
目標	①「ビジネスの理解力・実践力」を身につける。 ②「豊かな人間性」「経済社会の発展をはかる能力・態度」を身につける。 上記①, ②を身につけることにより, 日本で働くための応用力を備える。										
内 容											
第1章 商業の学習ガイダンス 第2章 ビジネスとコミュニケーション 第3章 経済と流通の基礎	1 商業を学ぶ目的と学び方 2 商業の学習分野と職業 練習課題 1 ビジネスに対する心構え 2 良好な人間関係とコミュニケーション 3 ビジネス情報の入手のしかた 4 ビジネス情報を活用する方法 練習問題 1 経済の基礎 2 ビジネスの発展 3 流通の意義と役割 4 売買業者のビジネス 5 流通活動とマーケティング 【応用的な内容】 トレード・オフと機会費用 練習問題	第4章 企業活動の基礎 第5章 ビジネスと売買取引	1 企業の形態と経営組織 2 資金調達 3 ビジネスの担当者 4 企業活動と税 5 雇用 【応用的な内容】 BOPビジネス 練習問題 1 売買取引の方法 2 代金決済の方法 3 電子商取引と代金決済 4 ビジネス計算の基礎 【発展的な内容】 複利原価と時間価値 【応用的な内容】 電子手形 練習問題								
評 価											
原則, 定期試験の成績を総合評価とする。											
教 材											
新訂版 ビジネス基礎 (東京法令出版)											
						担当教員	秋山 和豊				

科目	ビジネス実践実務			必修	履修学年	3	単位数	8	時間数	172
目標	1年次2年次で学んだ「ビジネス実務」「ビジネス応用実務」を基礎として、より実践的なビジネス力を身につけるため、マーケティングについて学ぶ。各単元内容を把握することにより、社会のニーズに合わなければ、利益をあげることにはできないことを理解する。									
内 容										
1	マーケティングは何のためにある？	マーケティングとは、市場拡大、マーケティング1.0～4.0、顧客のニーズ、デザイン思考、純顧客価値	4	消費者の心をつかむマーケティング理論	顧客満足（CS）と顧客価値、期待不確認モデル、顧客生涯価値（ライフタイムバリュー、LTV）、CRM、ロイヤルティ・マーケティング、ライフスタイル・マーケティング、ハード＝シェス・モデル、経験価値マーケティング、コンテキスト・マーケティング、ゲリラ・マーケティング、スポンサーシップマーケティング、プロダクト・プレイスメント					
2	マーケティングの基本	STP、4P（MM）、マーケティング戦略策定、外部分析と内部分析、3C分析、PEST分析、SWOT分析、ファイブフォース分析、バリューチェーン分析								
3	さまざまなマーケティングの戦略と考え方	ポジショニング戦略、コラーの競争地位別戦略、PPM、イノベーター理論とキャズム、製品ライフサイクル、ブルーオーシャン戦略、プラットフォーム戦略、フリー戦略、DAGMAR理論、シェア・オブ・ボイス、CRM、ラテラル・マーケティング、統合的マーケティング・コミュニケーション、グローバル・マーケティング、BPOマーケティング	5	最新マーケティング理論	パーミッション・マーケティング、インバウンド・マーケティング、データベース・マーケティング/ワントゥワン・マーケティング、ポリスティック・マーケティング、ゲーミフィケーション、エンドレスアイル、ショールーミング、CLO、ネット・プロモーター経営					
			6	強い企業から学ぶビジネスモデル	ドミナント戦略、ブルーオーシャン戦略、ジレットモデル、SPAモデル					
評 価										
原則、定期試験の成績を総合評価とする。										
教 材										
大学4年間のマーケティング見るだけノート(宝島社)										
担当教員						秋山 和豊				

科目	ビジネス応用実践実務			必修	履修学年	4	単位数	4	時間数	86
目標	<p>ビジネス社会において、社会の秩序を保つことはとても大切なことである。中でもさまざまなシーンでそれに合わせて行動できることが身を処するという。ビジネス応用実務実践ではより実践的な実務の遂行について、深い理解を持ち、業務全般に関して高度の知識・技能を発揮できるようにする。</p>									
内 容										
1 モノの値段から学ぶ経済の基本	<ul style="list-style-type: none"> 1. モノの値段と市場 2. 株と為替 3. 経費の節減・値上げ 4. ブランド品 5. 高速道路の料金 6. 先物取引と貿易 7. さまざまな保険 8. 流通業が価格を適正にする 9. 日本の流通は非効率か？ 	3 政治と経済の役割	<ul style="list-style-type: none"> 1. 政府の景気対策 2. 公共事業 3. さまざまな税金 4. 財政赤字は悪いとは限らない 5. 貿易について 6. 食料自給率 7. 「ふるさと納税」のお得度 8. 年金制度 9. GDPは何を測っているのか？ 10. お金で幸せになれるか 							
2 経済学の目で世の中を見る	<ul style="list-style-type: none"> 1. 経済学について 2. 悪徳商法とさまざまな業者 3. 給料格差と定年制度 4. 公共機関 5. 利息と金融業 6. デフレ・インフレ 7. 法定最低賃金 8. 資本主義と社会主義 9. 政府の役割 10. 競争を阻害する政府の規制 11. 電力の自由化でどうなるのか？ 									
評 価										
原則，定期試験の成績を総合評価とする。										
教 材										
1時間でわかる 経済のしくみ(Discover)										
担当教員						長谷 利孝				

科目	コンピュータ演習 I			必修	履修学年	1	単位数	8	時間数	172
目標	1. コンピュータの基本的な操作方法を習得する。 2. ローマ字かな入力を一定レベルまで習得する。 3. 文書ソフトの操作方法の習得を通し、基本的な文章の作成ができるようになる。 4. 表計算ソフトの操作方法の習得を通し、基本的なデータ処理・集計ができるようになる。									
内 容										
1. コンピュータ基礎	1. 基本的な用語と基本的な操作方法の取得			4. 表計算ソフト演習	1. 表計算機能の基本を習得 文書ソフトとの違い。セル操作の基本。					
2. 日本語入力	1. ローマ字入力の取得				2. 見栄えの良い表の作成・編集方法の習得 3. 各種関数の利用					
3. 文書ソフト演習	1. 様々な文字表示やコピーなど、文書作成の基本を習得 2. 表を活用した見栄えの良い文書の作成方法を習得 3. 画像や図、ワードアートなどのグラフィック要素の操作習得 4. はがきの作成 5. スマートアートの使い方			5. 総合演習	文書ソフトと表計算ソフトの活用					
評 価										
課題点及び授業態度を加味して総合評価する。										
教 材										
留学生のためのかんたんWord（入門）（株）技術評論社発行 ステップ30 Excel2016ワークブック ルビ付き（株）カットシステム発行 担当講師作成プリント（配布後の扱いは各講師判断）										
担当講師						木村 寿部留				

科目	コンピュータ演習Ⅱ			必修	履修学年	2	単位数	8	時間数	172
目標	文書ソフト、表計算ソフトを活用し、ビジネスの様々な場面に応じたドキュメントが作成できる。									
内 容										
1. 文書ソフト演習	1. 段組み・セクション区切りなどによる文書レイアウトの工夫			3. 総合演習			文書ソフトと表計算ソフトの連携			
2. 表計算ソフト演習	2. 長文の作成に便利な機能の習得 3. カード・はがきの作成									
	1. データの分析と整理方法の習得			2. 画像・図形の挿入を習得						
評 価										
課題点及び授業態度を加味して総合評価する。										
教 材										
留学生のためのかんたんWord（入門）（株）技術評論社発行 ステップ30 Excel2016ワークブック ルビ付き（株）カットシステム発行 担当講師作成プリント（配布後の扱いは各講師判断）										
担当講師						橋本 真粧美				

科目	CAD演習 I			必修	履修学年	1	単位数	12	時間数	258
目標	<p>AutoCADのソフトを利用して、CADの初歩的な操作方法を取得する。 実際にオペレータ試験問題を解きながら、各コマンドの使い方を学習する。 作図を通して、ものづくり全体の流れと図面の関係を理解する。</p>									
内 容										
1 オリエンテーション	基礎演習	AutoCADとは(要素)	複写							
2 LT ドリルブック	AutoCAD基本操作練習	キーボードやマウス操作法	回転							
LT 1	UndoとRedoとは	画面のコントロール	トリム							
LT 2	画面のレイヤ	ファイルの読み込みと保存	延長							
LT 3	AutoCADの座標とは	AutoCADの画面構成	ミラー(鏡像)							
LT 4	AutoCADの画面構成	基本コマンドの実行方法	ストレッチ							
LT 5	基本コマンドの実行練習	テンプレートとは	配列複写							
LT 6	テンプレートとは	1-348問	フィレット							
LT 7	線分-0スナップ	線分-0スナップ 垂線・平行	面取り							
LT 8	線分、構築線	角度、長さ、中心点、交点	文字記入②							
LT 9	削除		オブジェクトプロパティ管理、面積計算							
LT 10	円		ハッチング、グラデーション							
3 オペレータ試験問題集	0-スナップ		文字記入①							
	線分、構築線		寸法①							
	削除		寸法②							
	円		ブロック							
	円弧		印刷							
	楕円		その他							
	ポリゴン		4 試験問題							
	画層									
	オフセット									
	オフセット									
	移動									
		平行複写								
評 価										
<p>定期試験および課題など考慮した総合評価とする。</p>										
教 材										
<p>教科書 AutoCADトレーニングテキスト (AutoCADオペレータ試験問題集) AutoCAD LT ドリルブック 課題</p>										
担当講師						矢澤 稔				

科目	CAD演習Ⅱ			必修	履修学年	2	単位数	12	時間数	258	
目標	<p>AutoCADのソフトを利用して、図形の編集・画層管理・文字入力・情報管理まで応用的手法を修得する。 各担当教員用意した問題を解きながら、各コマンドの使い方を練習する。</p>										
内 容											
1 図面理解① 機械基礎 (なぜその形状か)	製図法の理解 どういう用途に使われるのか理解 表面処理 加工 公差 JIS規格	5 機械図面①	1. 機械要素の作図 (基本) 練習 機械部品全般 2. 機械要素の作図 (応用) 寸法と文字の記入 寸法数値の精度 寸法修正 面取り寸法	2 形状理解	三面図の形状理解 図の配置 2D図面の⇒3DCADまたはアイソメ 3D図面の⇒2DCAD	6 建築図面①	建築製図(壁式建築物) 設計概要 図面の種類(平面、立面、断面) 平面図 作図(S=1/100) 断面図 作図(S=1/100) 立面図 作図(S=1/100)	3 実践学習	実際の業務に近い内容を実践する 実務で用いる簡略法 2D図面改定	4 製図の知識 建築基礎	ものづくり全体の流れについて 図面を描く順序・目的の理解
評 価											
定期試験および課題など考慮した総合評価とする。											
教 材											
教科書 各担当教員の書籍等。											
担当講師						池尻 義幸 戸室 雅彰					

科目	CAD演習Ⅲ			必修	履修学年	3	単位数	20	時間数	430	
目標	AutoCAD、Inventorのソフトを利用し、いろいろな種類の機械図面を描き作図レベルアップを図る。建築CADや機械設計図面の理解向上を目標とする。										
内 容											
1 図面理解②	製図法の理解 材料の大分類 JIS規格 表面処理 JIS規格 公差	6 機械図面② AutoCAD	機械要素の作図（中級） 機械部品全般トレース 歯車種類の作図 ネジ種類の作図	3 図面改定	実際の業務に近い内容を実践する 2D図面改定 図面への記号表し方	Autodesk Inventor	機械要素の作図（初級） 3D 機械モデリング 図面作成	4 実践学習②	実際の業務に近い内容を実践する 設計者の図面改定 コストの関連 生地を活かす設計法 図面への記号表し方 実務で用いる簡略法	建築図面② AutoCAD	1. 建築製図(RC造) 設計概要 図面の種類(平面、立面、断面) 平面図 作図(S=1/100) 断面図 作図(S=1/100) 立面図 作図(S=1/100) 2. 建築製図(木造) 設計概要 図面の種類(平面、立面、断面) 平面図 作図(S=1/100) 断面図 作図(S=1/100) 立面図 作図(S=1/100)
5 製図の知識②	ものづくりの流れと図面の関係 図面作図構成 図面の検図作業 図面の目的										
評 価											
定期試験および課題など考慮した総合評価とする。											
教 材											
教科書 各担当教員の書籍等。											
担当講師						池尻 義幸 白岩 秀基 安保 智基					

科目	CAD演習Ⅳ			必修	履修学年	4	単位数	8	時間数	172
目標	<p>各図面がもつ目的と役割を正しく理解し、必要な情報を適切に描くことを目標とする。 実施図面は機械や建物をつくるために複数の図面で構成されるため、それぞれの図面の目的と表現を理解し作図できるようにする。</p>									
内 容										
1 図面理解③	製図法の理解 JIS規格 表面処理 加工 公差 コストの関係	建築図面③ AutoCAD	建築製図(RC造) 設計概要 図面の種類(平面、立面、断面) 平面詳細図 作図(S=1/50) 断面詳細図 作図(S=1/50) 立面詳細図 作図(S=1/50)							
2 図面改定②	図面の改定練習									
3 実践学習	実際の業務に近い内容を実践する 2D 図面改定 実務で用いる簡略法									
4 機械図面③ AutoCAD	機械要素の作図(上級) 機械部品全般トレース フラットショットPDF 立体図									
Inventor	機械要素の作図(中級) 機械部品全般モデリング 組図(ASSYモデリング)									
評 価										
定期試験および課題など考慮した総合評価とする。										
教 材										
教科書 各担当教員の書籍等。										
						担当講師	池尻 義幸 白岩 秀基			

科目	企業研修			必修	履修学年	4	単位数	20	時間数	430
目標	企業研修を行うことで学生のスキルアップを目指す。よりスキル磨くことで、活躍する場を増やしたり、より成果をあげたりすることができるようになることが目標とする。									
内 容										
1 企業研修の意義	<p>社会において、社会の秩序を保つことはとても大切なことである。中でもさまざまなシーンでそれに合わせて行動できることが身を処するということ。</p> <p>より実践的な実務の遂行について深い理解を持ち、業務全般に関して高度の知識・技能を發揮できるようにする。</p>				5 その他	<p>ビジネス・進路の授業において修得した、知識と技能をより高度にかつ実践に活用し自分の希望している進路に結びつける。</p> <p>さまざまな研修、セミナーなどに参加する。</p>				
2 企業研修	<p>*研修受入れ先との契約</p> <p>1研修条件</p> <p>2研修内容</p> <p>3研修期間</p> <p>4報酬の有無</p>									
3 企業開拓	<p>1ハローワーク活用</p> <p>2学校からの紹介</p> <p>3先輩・知人の紹介</p> <p>4その他</p>									
4 レポートの作成	<p>研修時 内容のレポート及び 出社状況の確認できる書類を提出</p>									
評 価										
<p>授業において、過去3年間のスキルの確認とスキルアップの状況など 就職活動など、企業説明会への参加 就職・進学・帰国など進路決定 研修レポートによる査定 平常点、出席率を加味して総合評価する。</p>										
教 材										
特に定めない										
						担当講師	坂本 雅彦 豊田 清			